

メジェルダ川洪水対策計画【チュニジア】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 令和7年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	チュニジア共和国
(2) 案件名	メジェルダ川洪水対策計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	<p>メジェルダ川流域を対象に河川改修等のインフラ整備を行うことにより 同流域における洪水対策機能の強化を図り、もって洪水被害の軽減及び地域住民の生活環境の改善に寄与するもの。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事（河川改修工事、エル・マブトゥ遊水地の機能改善工事、水門等の調達・設置工事） ・事業監理のための車両調達 ・コンサルティング・サービス <p>ア 閣議決定日：平成26年6月27日 イ 供与限度額：103.98億円 ウ 金利：0.6%（コンサルティング・サービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：40年(10年) オ 調達条件：一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業の計画当初、メジェルダ川を含むチュニジア北部では、集中豪雨が頻発し、大規模な洪水被害が発生していた。国土の半分が半乾燥気候条件下にある同国において、メジェルダ川は通年で流水を維持する唯一の河川（国内流路延長312km、流域内の国内人口約133万人）であり、同流域の農業は同国経済と食糧安全保障の重要な一翼を担っていた。そのため、同河川の大規模洪水は、農作物、インフラ設備や家屋等の物質的損失にとどまらず、経済活動の停滞や災害をきっかけとした貧困の増加等、経済的・社会的損失を伴うことから、同国が持続可能な開発を達成する上でのリスク要因の一つであり、洪水対策への取り組みが喫緊の課題となっていた。</p>

	<p>近年においても大規模な洪水が発生しており、メジェルダ川の洪水対策は同国の経済・社会開発を円滑に進める上で引き続き喫緊の課題であることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>河川改修に際して必要な既存インフラ（鉄道等）の移設工事に関する関係機関との合意形成に時間を要し、コンサルタント選定手続きが遅延、また、新型コロナウイルス感染症の影響により工事調達手続きにも遅延が生じた。加えて、2022年から2023年にかけて、例年を上回る降雨量により工事を中断せざるを得ない期間が長引き、更なる遅延が発生した。現在土木工事は進捗し、2026年の工事完了予定。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれることから、支援を継続する。</p>
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料